

V-Campus 7th 更新

－ p5.IDM・認証連携 －

1. 概要

ID 管理システムでは、エンドユーザ向けのサービス（パスワード再発行、個人属性情報の管理等）、並びに管理者向けサービス（人事、教務データ取り込み、一括管理等）の運用を効率的に行える環境を整備しつつ、セキュリティポリシーの徹底を図り、ユーザが安心して利用出来る ID 管理システム構築を目的として更新を行った。

認証連携については、アカウント情報漏洩による不正アクセス対策として SSO、非 SSO 認証共に 2 段階認証の導入を目的とした。その際、利便性に配慮し学内、学外などアクセス元による 2 段階認証適用範囲を柔軟に選択出来ることが求められる。2 段階認証に用いるデバイスは物理的な専用 Dongle を配付することなく、個人所有のスマートフォンが利用できることを必須要件とした。

IDM 連携では教職員と学生それぞれに対し異なるポリシーでの運用が見込まれるため、それぞれドメイン、テナントを分ける想定で提案を依頼した。

2. システム更新のポイント

- (1). 二段階認証の導入
- (2). 教職員と学生の Office 365 テナントの分離
- (3). 専任と非専任、教員と職員のグループ分割
- (4). メーリングリストやサービス権限管理機能のワークフローメニュー追加

3. p5.IDM・認証連携更新まとめ

認証の二段階認証は利用者への直接影響も大きく、運用を踏まえた要件と設計の確定が予定より大幅に遅れる結果となった。

教職員と学生のドメインとテナント分離の検討では、実運用での利便性を考慮し、テナントのみが妥当と判断した。

今後は、エンドユーザの利便性向上策を検討しつつ、安定したサービス提供に努める。

【 認証連携 】

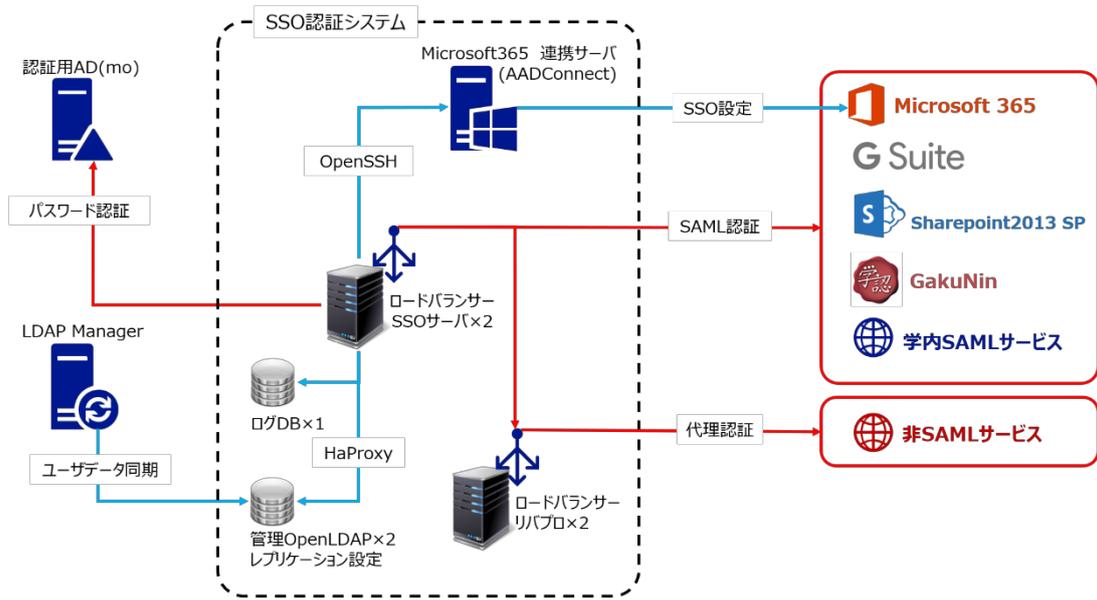


図 1 : 認証連携 概要図

【 IDM 】

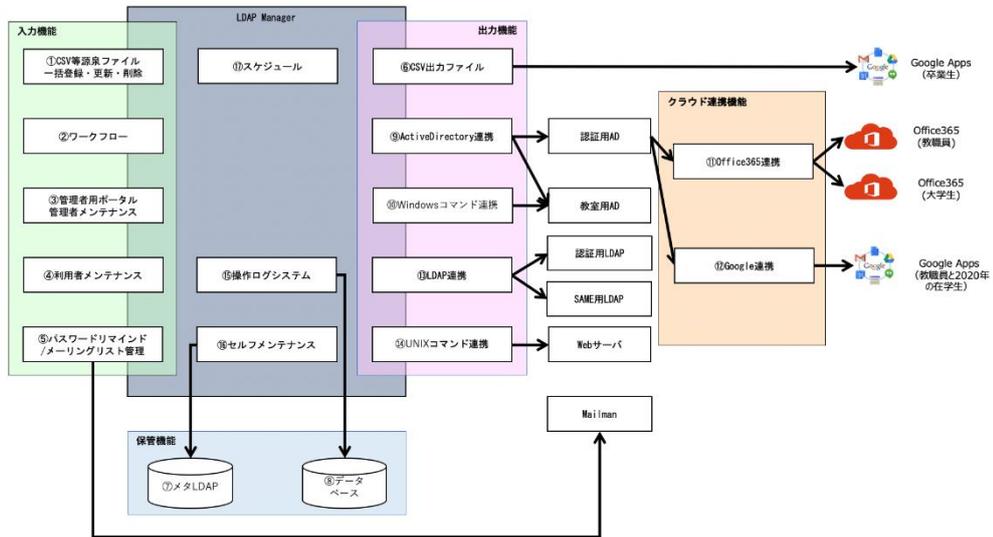


図 2 : IDM 概要図